

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和6年度分）

施設	名 称	栃木市藤岡地域活動支援センター
	所 在 地	栃木市藤岡町都賀390 - 13
	施設内容	地域活動支援センター
指定管理者	名 称	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
	所 在 地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉推進事業、介護保険事業、障害者総合支援法に基づく事業

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	利用案内掲示数			3か所		3か所	
	アンケート数			20件		24件	
	利用者意見反映数			1件		2件	
	利用者満足率			80%		100%	
	業務改善数			2件		3件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	・施設運営の基本方針を明文化し見えるところに掲示したことで、職員のさらなる意識向上につながりました。 ・法令を遵守し、常に施設利用の利便性、平等性の確保に努めました。 ・利用者や家族の意見を事業等に反映させ、サービスの向上に努めました。利用者から回答のあったものについては100%の方が満足との回答を得ました。家族から回答のあったものについては100%が満足との回答を得ました。 ・利用者の方からの要望を聞き入れ、できる限り応えられるよう努めました。						
施設所管課コメント	アンケート調査の結果、計画値を超えた数の回答があり、利用者・家族ともに100%の満足度が得られたことは高く評価できる。 利用者からの意見を事業に反映させたり業務の改善を行う等、職員がサービスの向上に務めた結果だと思われる。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取り組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取り組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者数			年間1,040人	年間1,116人	
	広報紙発行数			年6回	年6回	
	ホームページ更新数			年2回	年4回	
	新規事業数			1事業	2事業	
	見学・体験者利用者数			5人	8人	
	地域との協働事業数			8事業	9事業	
	協働等事業参加数			延べ65人	延べ148人	
	ボランティア受入数			延べ75人	延べ79人	
	自主事業数			11事業	11事業	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	・自主事業は利用者の意見・要望を踏まえ、当初の事業計画書と比較して実施事業数を増やし、管理運営を行いました。 ・事業数を増やし、相談員へ積極的な声掛けを行なったことで利用者数の目標値を超えることができました。また、SNS（TikTok）を開設し広報活動に努めました。 ・利用者の身体状況や家族の都合に合わせた受入や送迎を実施しました。 ・新規事業として障害者施設からコーヒー豆を購入し、地域向けのイベントで提供する事で利用者の社会性の獲得に繋がり、地域との交流を積極的に図ることで障がいへの理解促進を図りました。 ・ボランティアの継続的な参加や、サロンや高齢者カフェ等他団体と協働した事業の実施、イベント協力など、協働事業の計画値と比較し、実施数を増やすことで利用者の社会参加の機会提供と地域活動支援センターの役割・機能について理解促進を図りました。					
施設所管課コメント	新規事業や地域との協働事業を増やし、利用者数・参加者数が大幅に増やす努力をしたことは、地域の方々にも施設や障がい者への理解をいただける機会やPRにもなるので大いに評価できる。ホームページの更新数が計画値を上回っていることや、新たにSNSを開設など多くの人の目に触れるような広報活動を積極的に行っていることも評価できる。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	人員配置数			3人	3人		
	研修会開催数			4回	7回		
	研修会参加者数			延12人	延19人		
	勤務時間（1人あたり）			1日7.75時間	1日7.75時間		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	・安定した管理運営をするため、計画に沿った職員配置を行いました。（必要に応じて、社会福祉協議会職員の応援体制も充実しています） ・毎日のミーティングの他、職員研修を行い資質の向上に努めました。 ・インフルエンザ予防接種費用の助成を行いました。 ・健康保険料、厚生年金保険料及び各種税金は適切に納付しました。						
施設所管課コメント	利用者の障がい特性を理解し、常に状況に応じた適切な対応及び合理的配慮が求められる中、前年度の計画値より倍に設定した研修会の開催数や参加者数が、計画値を大幅に上回っており大いに評価できる。 職員の人的配置については適正に配置されており、不測の事態に対しても母体である社会福祉協議会の応援体制も確立されていることは評価できる。						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全点検実施回数			243回	243回	
	事故発生件数			0件	0件	
	避難訓練等実施回数			4回	4回	
	避難訓練等参加者数			延30人	延28人	
	防犯訓練実施回数			1回	2回	
	防犯訓練参加者人数			9人	11人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	・ 毎日の安全点検（施錠確認、火の元確認、整理整頓等）、台風等災害時の安全点検を行いました。 ・ 緊急時の危機管理体制を整理し適切に行うよう努めました。 ・ 携帯電話を使用した詐欺に対応できるよう、防犯講座を実施しました。 ・ 避難の重要性を伝えるため、水槽を活用した避難訓練を実施し防災力向上に努めました。 ・ 個人情報を保護するため、管理等の適切な対応を行いました。					
施設所管課コメント	利用者の安全確保のために点検を継続的に行い、事故発生件数が0件であることは評価できる。 携帯電話を使用した詐欺に対応できるよう防犯講座を実施したり、水槽を活用した避難訓練を実施する等、工夫をしながら防災力を高める努力をしていることは評価できる。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	12	
評価点合計	100	81	81	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
資産総額	1,983,652,461	1,965,766,261	1,962,114,735
売上高	825,285,169	807,520,501	804,065,009
経常利益	-82,602,966	-78,435,421	-66,888,293
当期利益	39,099,727	-78,285,914	-72,810,722
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常費用	910,352,088	888,350,143	872,437,597
経常収益	827,749,122	809,914,722	805,549,304
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

事務事業及び組織のスリム化を促したことにより、事業費支出及び人件費支出が圧縮いたしました。しかしながら、令和5年度における本会全体の財務状況は、依然として収益事業の実績が思わしくなく、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益の減少が続いております。繰越金があることも考慮すると、現時点で組織全体の運営に支障はありませんが、経営の安定化に向け、今後もコスト削減と収入源の確保に取り組みを継続いたします。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント